



図書館から

新しい本が入りました
日本を捨てた男たち

水谷 竹秀／著

ノンフィクション

フィリピンクラブとの出会いが、逃避行、無一文への転落と男の運命を変えた。「困窮邦人」の実態をあぶりだす。



楽しい電力自給自足生活

電力自給自足生活研究会／編

一般書

電気は買う時代から自分で作る時代へ。さまざまな自家発電方法の最新情報を掲載。ユニークな簡易発電グッズも紹介。



奇跡の一本松

なかだ えり／作

絵本

東日本大震災で、大津波に襲われた岩手県陸前高田市。高田松原7万本の松が流された中、たった1本だけ生きのびたが……



「よいしょ、よいしょ」楽しいな

保育園、幼稚園でもちつき



くんねっぶ保育園
訓子府幼稚園



「よいしょ、よいしょ」子どもたちがけんめいにもちをつき、かわいいかけ声が響きました。
もちつきは、訓子府幼稚園が昨年12月1日(表紙写真)、くんねっぶ保育園が12月7日にそれぞれ行われました。
父母や商工会青年部、先生などが手伝う中で、子どもたちは「ベツタン、ベツタン」と小さなきねを使ってもちつきをし、きなこもちや雑煮などにしておいしそうに食べていました。

遊戯や歌など、かわいい演技を披露

くんねっぶ保育園のゆうぎ会が昨年11月27日に公民館で開かれ、かわいい演技が披露されました。
1歳から3歳までの園児が、次々に舞台上に登場、遊戯や歌などを一生懸命に発表しました。
会場には父母をはじめ、祖父母などが大勢詰めかけ、園児たちに大きな拍手を送っていました。



くんねっぶ保育園のゆうぎ会

「おかえりなさい 先輩」久島弁護士(千葉県)が母校で授業



おかえりなさい 先輩

講師
久島和夫氏

道外などで活躍する訓子府町出身者を講師に招いた初めての授業「おかえりなさい 先輩」が昨年12月19日、訓子府小学校で行われました。

母校で授業を行ったのは、「東京くんねっぶ倶楽部」の会員で、東京で弁護士事務所を開設している久島和夫弁護士。授業には、訓小と居武士小学校の5、6年生合わせて100人が参加。

久島さんは、訓小時代に日本で一番難しいとされる試験の一つに弁護士(司法)試験があることを知り、自信を持って何か一つやろうと弁護士をめざしたきっかけなど、児童が将来進むべき道へのヒントになるような体験を分かりやすく話しました。

また、「足し算などを父母と競争する、覚えなくてもいいので、声を出して教科書の習ったところのページを読むことで集中力を高めて」とアドバイスし、児童は、メモを取るなど真剣に聞いていました。

訓子府支署に最新鋭の

高規格救急車を配置

北見地区消防組合消防署訓子府支署に最新鋭高規格救急自動車(救急車)が配車となりました。

道内各自治体の申請に基づき消防本部などに救急自動車を寄贈しているJA共済連北海道本部の「救急自動車寄贈事業」を活用し、訓子府支署への配置が決定しました。

約530万円相当の救急自動車の寄贈をJAきたみらいを通して受け、北見地区消防組合で約3000万円を投入し、高規格救急自動車仕様に整備しました。

無線装置や、走行中でも揺れにくい防振ベッド、さらに最新鋭の救急医療機材なども備えています。

昨年12月16日に西川孝範JAきたみらい組合長から、菊池町長にマスコットキーが手渡されるなど、受納式が行われました。



全国共済農業協同組合連合会北海道本部
寄贈 救急自動車受納式



町制施行60周年記念 NHK ラジオ公開録音

上方演芸会で爆笑の渦

町制施行60周年を記念したNHKラジオ公開録音「上方演芸会」が昨年12月2日、町公民館で開かれ、約350人の方が上方漫才を楽しみました。
町とNHK北見放送局の共催。1本目の録音には、「横山たかし・ひろし」と「オジンオズボーン」、2本目は「酒井くにお・とおる」と「まるむし商店」の漫才コンビが登場しました。
会場となった公民館講堂は、上方ならではの漫才に、終始爆笑の渦に包まれていました。
この上方演芸会の様子は、1月14日(土)と1月21日(日)いずれも13時5分から13時30分までラジオ第1で、また、1月22日(日)と1月29日(日)9時30分から9時55分までラジオ第2でそれぞれ全国放送される予定です。



まちのわだい

